

中央労働講座・全国青年対策会議に参加して！

青年部 事務局長 市川 佳介

4月21日(金)～24日(月)、全港湾北海道地方本部で開催された第50期中央労働講座、第20期全国青年対策会議に支部青年部代表として初めて、参加しました。

講義初日は、松本中央執行委員長の挨拶から始まり、真島中央書記長の全港湾の結成から今に至るまでの闘争の歴史、活動についての講義を受けました。中でも、産別闘争の歴史の部分は特に身に染みしました。普段当たり前の様に感じている組合員の権利は諸先輩達の闘争の中で勝ち取った権利だと再認識しました。

講義二日目は、鈴木中央副委員長による港湾運送事業法、指定港、非指定港の違い等の講義が行われました。勉強不足により理解しきれてない部分も多々ありますが、今後、理解出来るように勉強していきたいと思います。

午後からの分科会では全港湾の長所と短所、各分会内での情報伝達方法、各地方青年部の活動についてをテーマに話し合いました。

全港湾の長所と短所では各地方長所については意見が出たのですが短所は殆んど参加者は頭を悩ませていました。その中で印象に残っている意見として長所は、団結力、地域問題の共有、ネームバリューという意見が出ました。また、短所では、女性組合員が少ない、組合内での意識の温度差という事が挙げられました。

また、各分会内での情報伝達方法については殆んど地方、分会が分会集会を開くとの事でした。それ以外では個々に話をしに行くなどの方法を用いるという意見もありました。各地方の青年部の活動については各地方とも反戦反核運動をしており、東海地方は福島キャラバンなどの活動をしているという意見もありました。他にも海の日のごみ拾い、毎年一度の青年部を集めての勉強会、交流会など様々な活動があり、大阪支部青年部でも様々な活動を自主的に行おうという意識を持ちました。

対策会議参加当初、右も左もわからない状態で学習や講義また、他支部との交流、何より意見を言うのも苦手な私でしたが、同世代の仲間との交流を持つ事で気持ちが解れ私なりに様々な話が出来ました。

最終日は分科会の各班まとめの発表をし、各中執からのまとめ、東北地方ひ
たち支部の古内さんの団結がんばろう！で締めくくられました。
今回参加させて頂いて自分も含め支部青年部の意識の低さを痛感させられまし
た。今後は中央労働講座での学習、経験を糧に活動をしていきます。